

インターネット上における差別発言に対するお詫び

時宗は、人間の尊厳を尊重する宗旨に鑑み、宗内教師を対象とする人権に係わる諸問題についての研修会を開催するなどの取組みを続けてきました。しかるところ、このたび、宗内寺院の一教師がインターネット上において差別的な発言をしていることが判明しました。直ちに本人より事実を確認し、「時宗宗制宗規」に基づき厳正に対応して参ります。この事実に対して時宗として遺憾の意を表するとともに、名誉を傷つけられた方々に対し、宗派を代表しお詫び申し上げます。

また、今後、同様なことが絶対に起きないように、注意喚起はもちろんのこと、時宗教師全体の意識強化に努めて参ります。

平成 30 年 6 月 27 日

時宗宗務総長 桑原 弘善